



はじめに

少子化等による人口構造の変化は、年金、医療、介護に係る経費など社会保障費用の増大を招くとともに、経済成長への深刻な影響も懸念され、わが国が直面する喫緊の課題となっています。

また、核家族化の進展や地域のつながりの希薄化、夫婦共働き家庭の増加など、子どもと子育て家庭を取り巻く環境も大きく変化する中で、男女共に保護者が子どもと向き合い、喜びを感じながら子育てができるよう、子どもの成長と子育てを社会全体で支援していくことが必要不可欠となっております。

このような中、国においては、質の高い幼児期の学校教育・保育を総合的に提供し、地域の子ども・子育て支援を充実させ、全ての子どもが健やかに成長できる社会の実現を目指すため、平成24年8月に「子ども・子育て関連3法」が公布されました。また、平成26年4月には、次世代育成支援対策のさらなる推進・強化を図る目的で、次世代育成支援対策推進法が10年間延長されたところです。

本市においては、次世代育成支援対策推進法に基づき、子育て支援施策を総合的かつ効果的に推進するため、平成16年に「かごしま市すこやか子ども元気プラン」（第一期）を、平成22年に後期計画（第二期）を策定し、様々な施策に取り組んでまいりました。

そしてこの度、妊娠・出産期から切れ目のない、子ども・子育て支援に関する総合的な計画として、「鹿児島市子ども・子育て支援事業計画」を策定いたしました。

今後、国、県をはじめ関係団体や子育て支援団体等と連携しながら、この計画を着実に推進し、子どもを持ちたいと希望する人が安心して生み育てることができる社会の構築を図るとともに、社会の希望であり未来をつくる存在である子どもたちが明るく健やかに成長でき、子育てや子どもの成長に喜びを感じられる環境づくりに努めてまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

終わりに、この計画の策定にあたりまして、貴重なご意見やお力添えをいただきました子ども・子育て会議の委員の方々をはじめ、ニーズ調査やパブリックコメント手続にご協力いただきました多くの市民の皆様、関係機関各位に心から感謝申し上げます。

平成27年3月

鹿児島市長 森 博幸